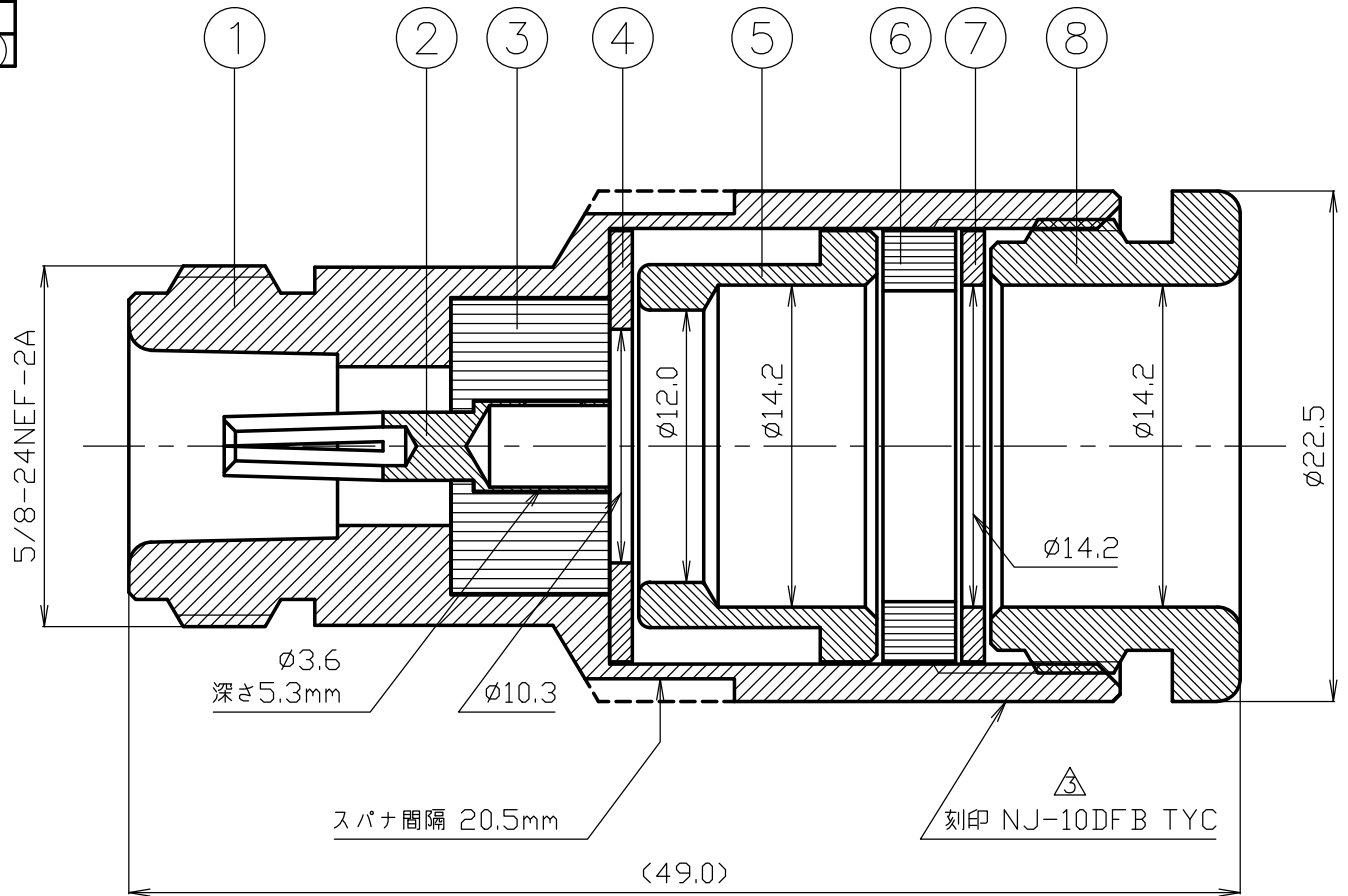
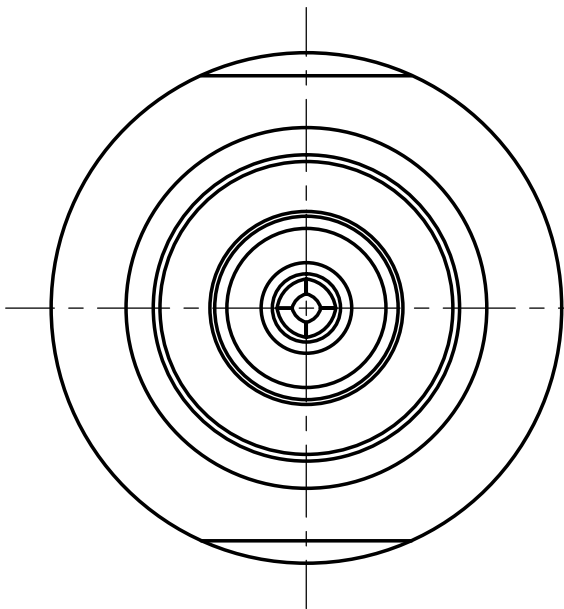


番号	変更・記事	日付	確認
△	Sn → NI	96.10.08	済
△	AG → NI	2001.05.16	済
△	刻印 NJ-10DFB → NJ-10DFB TYC	2003.04.09	済
△	社名変更	2012.01.05	(山)



番号	部品名	材質	数量	処理	備考	単位	日付	投影法	製図	検図	承認	確認	品名
8	締付金具	黄銅	1	NI	△			3/1	山 '12.01.05 口	檜 '12.01.05 澤	山 '12.01.05 本	中村 '12.01.05 義	NJ-10DFB
7	ワッシャー	黄銅	1	NI	△								
6	ガスケット	シリコンゴム	1	-									
5	クランプ	黄銅	1	NI	△								
4	ブッシング	黄銅	1	NI	△								
3	絶縁体	テフロン	1	-									
2	中心コンタクト	リン青銅	1	AU		mm							
1	シエル	黄銅	1	NI	△		'92.07.24	投影法	◎	▲	株式会社 トーコネ TO-CONNE CO., LTD.		図番 S-0520142-01

仕 様 書

品 名 NJ-10DFB

No. 0520103

図 番 S-0520142-01

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS C 5411
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 10 GHz
 4 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成
山 12.01.05 本	檜 12.01.05 澤	山 12.01.05 口

	項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 仕上げ及び表示	添付図に示す (図番 S-0520142-01)	異常のないこと
2			
3			
4	電 絶縁抵抗	DC 500V	1000MΩ以上
5	気 耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
6	的 接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1KHzの交流又は直流で1mVを越えない方法にて	3mΩ以下
7			
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常なく結合すること
9	ケーブル接続強度	軸方向引張力 392N以上	異常のないこと
10	機 械 的 特 性	抜き止めのあるコンタクトの固定力	中心コンタクトに軸方向引張力4.9N以上
11		結合部接続強度	軸方向引張力 約294Nを加えたとき
12	雌コンタクトの保持力	規格ピンゲージ0.98N以上	異常のないこと
13	繰り返し動作	5000回の抜き差し後	接触抵抗は10mΩ以下

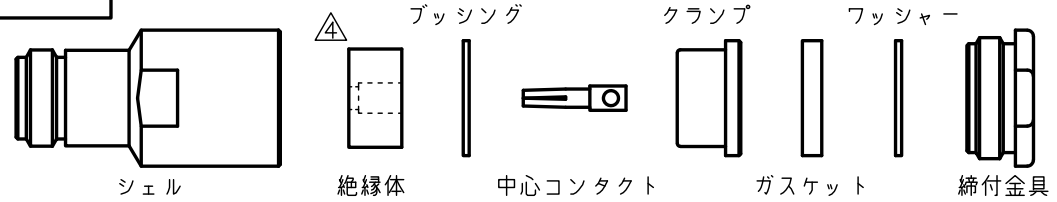
GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	社名変更	2012. 01. 05
2		
3		

NJ-10DFB 取付仕様書

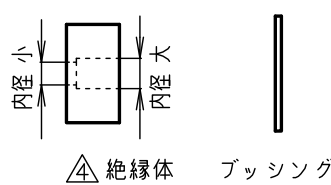
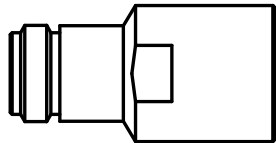
適合ケーブル 10D-FB △

部品構成



図番
S-0520142-01

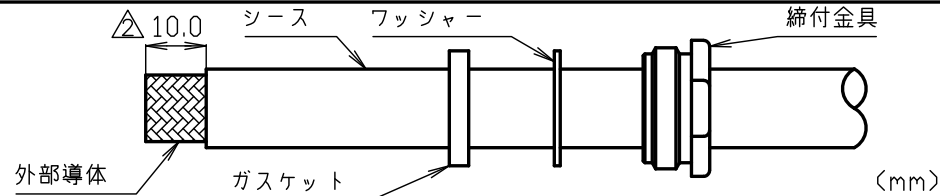
製図	検図	承認	確認
 榎 澤 '20,11,24	 栗原 '20,11,24	 山本 '20,11,24	 三村 '20,11,24



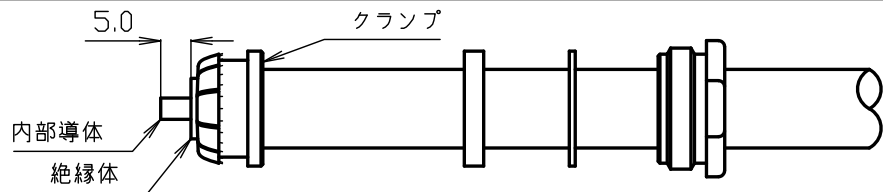
番号	変更・記事	日付	確認	△	△	絶縁体 部品図変更	2020.01.22	山本
△	社名変更	2012.01.05		△	△	推奨締付トルク値：8.0N・m 追記	2021.11.24	
△	11.0 → 10.0 寸法変更	2012.12.21						
△	適合ケーブル 追記	2012.12.21						

シェル 絶縁体 ブッシング

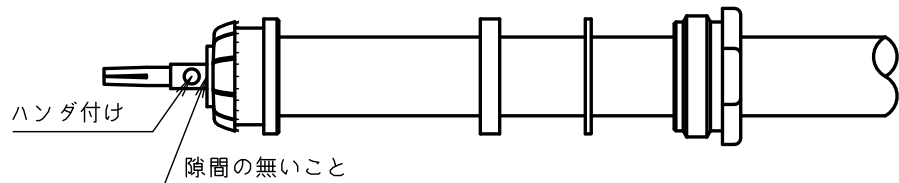
① シェルの中に、絶縁体、ブッシングの順に装着する。



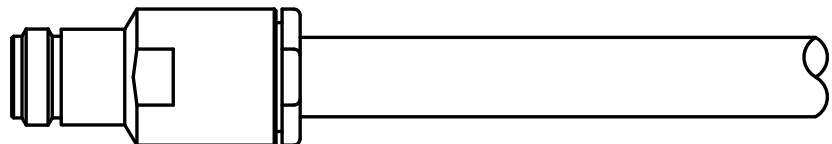
② 同軸ケーブルへ締付金具、ワッシャー、ガスケットの順に通し、シースを図中の寸法で切りとる。



③ クラмпを装着した後、外部導体をほぐし折り返して切りそろえ、アルミ箔はたんざく状に切り、折り返し切りそろえて、絶縁体を図中の寸法で切取る。



④ 内部導体に中心コンタクトを装着し、ハンダ付けする。このとき半田が盛り上がらないこと。
ハンダ付けの後、中心コンタクトを軽く引張り抜けない事を確認する
注意：中心コンタクトとケーブル絶縁体の間に隙間が無い事
また、熱によりケーブル絶縁体の変形しない事



⑤ シェルを装着し、締付金具をスパナ等で締め付けて作業を完了する。推奨締付トルク値：8.0N・m △